

旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

調査日時： 年 月 日 午前 ・ 午後 時

調査者氏名：

I) 建築物の概要

1. 建築物の所有者:
2. 建築物所在地:
3. 階数:
4. 居住の有無:
5. 現住所:
6. 連絡先:

Ⅱ) 前提条件の確認(いずれも必須)

チェック欄

木造住宅である	
昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した	

Ⅲ) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

(1項目以上ある場合は倒壊の危険性があると判断)

建物全体	全体又は一部に崩壊がある	
	全体又は一部に傾斜や変形がある	
地盤・基礎	地盤沈下が生じている	
	基礎がコンクリート以外(玉石、石積み、ブロック等)である	
	基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	
老朽・腐朽	柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる	

記入例

旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

調査日時：令和7年4月1日午前午後1時

調査者氏名：三重 太郎

I) 建築物の概要

1. 建築物の所有者：三重 花子

2. 建築物所在地：鈴鹿市神戸一丁目18-18

3. 階数：2階建て

4. 居住の有無：空き家

5. 現住所：鈴鹿市神戸一丁目18-18

6. 連絡先：059-XXX-XXXX

II) 前提条件の確認(いずれも必須)

チェック欄

木造住宅である	○
昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した	○

III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

(1項目以上ある場合は倒壊の危険性があると判断)

建物全体	全体又は一部に崩壊がある	
	全体又は一部に傾斜や変形がある	
地盤・基礎	地盤沈下が生じている	
	基礎がコンクリート以外(玉石、石積み、ブロック等)である	
	基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	○
老朽・腐朽	柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる	

調査した日時と、調査を行った方の氏名を記入してください。

調査者氏名は原則、所有者氏名としてください。

(委任状等あれば別名でも可)

建築物の所有者、所在地、階数、居住の有無、現住所、連絡先(固定電話または携帯電話番号)を記入してください。

前提条件に該当することを確認し、“○”を記入してください。

※プレハブ、丸太組工法は対象外

※長屋・共同住宅の場合は対象外

各項目について敷地や建築物等の状況を確認して該当する場合は、“○”を記入してください。

あくまでも目安になりますが、各項目の判断に当たっては、下記の表をご参考にしてください。

該当する項目についてはその状況がわかる写真を提出してください。

III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目(例示)

箇所	項目	例
建物全体	全体又は一部に崩壊がある	・建物全体が崩壊・落階している ・屋根や外壁の一部が脱落している ・柱が折れている ・外壁に亀裂や穴が生じている
	全体又は一部に変形がある	・建物全体が傾いている ・棟がうねっている ・軒先が垂れている ・柱や壁が傾いている ・床に起伏がある
地盤・基礎	地盤沈下が生じている	・土地の沈下や建物の沈下が見られる
	基礎がコンクリート以外(玉石、石積み、ブロック等)である	・基礎が玉石、石積み、ブロック、レンガ等である
	基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	・基礎がひび割れている ・基礎の一部が欠けている ・鉄筋の露出や鉄筋のさび汁が見られる
老朽・腐朽	柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	・部材が食害されている(特に床下や小屋裏等の暗くて多湿な箇所を確認) ・白蟻の巣がある ・部材に虫がわいている
	柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる	・部材が湿気等により腐っている ・部材にカビが生えている
	柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる	・部材に穴がある ・部材が欠けている ・部材に亀裂が見られる

※上記の項目において、該当する項目が1 つ以上ある場合、倒壊の危険性があると判断されます。